

第365回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 2020年2月17日(月)午前11時00分～
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 7人 出席委員 6人

出席委員

若杉 隆平	委員長	田村 明子	副委員長
飯塚 智	委員	増満 浩志	委員
野内 隆裕	委員	柳川 かおり	委員

会社側出席者

代表取締役社長	務台 昭彦
取締役放送本部長兼編成局長	稲田 裕之
取締役報道制作局長	寺内 邦彦
報道制作局制作部長	竹野 和治
番組プロデューサー	須山 司
事務局	安部 貴俊 小野塚由起子 吉田 康宏

4 議 題

1) 番組合評

「NNN ドキュメント' 20 とき つなぐ島

あすの空に舞え 朱鷺色の翼」

[放送：2020年1月5日(日)24：55-25：25]

(説明：番組プロデューサー 須山 司)

2) 会社報告

①1月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

②講じた措置、公表など定例報告等 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要

会社側からは、「当初は“朱鷺”を通して佐渡の過疎化、耕作放棄等の問題提起を考えていたが、「NNNドキュメント' 20」の新年最初の作品らしく、佐渡に生息するトキとトキを守る人々、佐渡の大自然という美しい映像にフォーカスし、全国に届けることにした。

トキの姿を通して自然と命のつながりを感じて頂きたいというテーマで制作した。」という趣旨の説明があった。

(委員の意見)

- 見終わった後、映像の美しさが心に残った。
- ナレーションがやさしく、柔らかかったので穏やかに見られた。
- 今までの“朱鷺をテーマにした番組”より映像、BGM、ナレーションが洗練されていたと思った。
- トキ保護センターの取り組みもわかった番組だった。

- 普通の人たちが頑張っている姿をもっと報道してほしい。
- 放鳥時に子供たちが朱鷺に声援を送っている姿が良かった。
- 朱鷺がいる島を再生させようという人々の思いと新潟の自然の美しさがでていて良かった。
- 環境と人間との関わり合いについて制作側は問題提起をしているつもりはなかったようだが、見ている方はいろいろ考えさせられる番組でもあった。
- 佐渡の自然の美しさは、それを守ろうとしている方々の努力の上で成り立っているのだと思った。
- なぜ朱鷺がいなくなったか？ なぜ守らなければいけないのか？ がもう少し知りたいと思った。
- 島、町が一丸となって朱鷺の復活に取り組んでいたのが印象に残った。
- 「トキがいなくなったら、最後にいなくなるのは人間だ」という言葉が印象的だった。
- 新しい発見はなかったが、全く知らない人には興味を持ってもらえる番組だと思った。
- 完成度の高い番組だと思った。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

1月…… 123件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(2020年1月27日)から、昨日(2020年

2月16日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見（前回審議会）に対してとった措置

1) 前回第364回審議会では、

「夕方ワイド新潟一番 自然派スペシャル

遠藤師匠とやすし君 2019 名場面集」

を審議いただき、委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第365回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項（委員への配布資料）

- ・第364回番組審議会議事録
- ・1月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・民間放送新聞（2/3号、2/13号）

以上